



# 若者力フエ開催報告

令和7年11月11日（火）

区分	概要
目的	<p><b>若者が本県の未来を自分のこととして主体的に考える場を創出し、若者の行政への関心や参画意欲を高める</b></p>
実施日	<p>第1回：令和7年6月4日（水） 19：00～21：00  <b>第2回：令和7年9月10日（水） 18：00～20：00</b>          第3回：令和8年1月～2月（予定）</p>
参加者(大学生)	<p>第1回：20名（静岡大学） <b>第2回：15名（静岡大学）</b></p>
内容	<p><b>第1回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県の総合計画について学習</li> <li>・計画の位置づけ、次期総合計画の概要</li> </ul> <p><b>第2回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期総合計画案(第1回総審資料)を共有</li> <li>・<b>本県の課題と対応案について意見交換</b></li> </ul> 

# I - 1 産業

## 〈産業人材の確保〉

### 課題

- ・ 県内企業を知る機会がなく、首都圏で就職する学生が多い
- ・ 各企業が個別にイベント開催するため、情報収集しにくい

### 対応案

- ・ 県内企業の合同仕事体験会
- ・ 気軽な雰囲気で社員と会話できる場

## 〈その他〉

- 商店街の空き店舗等を活用したチャレンジショップ体験の機会があれば参加してみたい

## I-2 環境・エネルギー

〈自然環境の保全〉

課題

- ・ 次世代を担う世代として、リニア中央新幹線整備と水資源・自然環境の保全の両立について知る必要がある
- ・ 大学で地域の環境保全について学ぶ機会が無い

対応案

- ・ リニア中央新幹線整備と環境保全に関する情報発信の強化

〈その他〉

- ・ 環境ビジネス振興に向けて、ソーシャルスタートアップの積極的な支援が必要ではないか

# I-3 観光・交流・インフラ

〈移住定住、関係人口・二地域居住〉

## 課題

- 就活に結びつけたイベントを開催すれば、大学生が積極的に参加するのではないか



## 対応案

- 過疎地域でのワークショップやインターンシップ
- 宿泊料割引が特典として付与される学生向けバイト募集

〈その他〉

- 高校生や大学生がまちを案内するガイドツアーをやってみたい
- ガイド体験が県内就職のきっかけになるかもしれない

## II-1 こども・教育

〈地域で取り組む教育〉

課題

- 子育ての負担を軽減し、孤立感を解消するには、地域社会とつながるための機会を増やすことが必要

対応案

- 学校にキッチンカーを呼び、清掃活動等に参加すると割引になるイベント
- 小学生～大学生まで、幅広い世代の若者が交流する場

〈その他〉

- 子育て世代が集まる場がほしい
- こども食堂のことによく知らない学生が多い

## II-2 健康福祉

〈健康づくり〉

課題

- ・ 若者が自分の身体について深く知る機会が無い
- ・ 身近に友人と気軽にスポーツを楽しめる場所が少ない

対応案

- ・ 学校の健康診断以外で、健康状態を測定できる機会
- ・ 安価で利用しやすい運動施設の整備

〈その他〉

- ・ 幼少期から障害に対する正しい知識を身につける必要がある
- ・ 障害のある人との関わり方を学べる講座

## II-3 暮らし・文化

〈富士山世界遺産の保存〉

課題

- 学生に賃金を出して雇うことで、オーバーツーリズム等の対策を強化できるのではないか
- 富士山の文化的価値について知ることが重要

対応案

- 学生アルバイトによる登山客向けのマナー啓発活動
- 世界文化遺産としての富士山について学ぶ授業

〈その他〉

- 地元アスリートと交流できるイベント
- 地域住民のオンラインでの交流

## III-1 防災・安全

### 〈防災意識啓発〉

#### 課題

- ・ 機会がないと、自発的に防災マップを見ようと思わない
- ・ ポイ活やゲーム、イベント等のきっかけがあれば、学生も興味を持ちやすい

#### 対応案

- ・ ゲーム感覚で防災アクションを学べるイベントやアプリ
- ・ 防災用品の購入によりポイントが貯まるキャンペーン

### 〈その他〉

- 県HPは見に行かないので、アプリでプッシュ配信の方が良い
- 相談窓口は電話よりもSNSの方が利用しやすい